

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：石丸雄也（いしまるゆうや）30 歳                  営農地：神戸市西区伊川谷町                  就農区分：親元就農</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>栽培品目：いちご（高設栽培）                  農地：50a（借地 50a）                  施設：本田ハウス 2 棟（12.8a 20.0a）                  労働力：本人、妻、パート 8 名                  栽培品種：おいCベリー、紅ほっぺ、等                  販売先：スーパー、直売所、自家直売、仲買、ケーキ店、ホテル、パン店など</p>  <p>植え付けた苗を丁寧に観察する石丸さん</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2014 年～ 前職を離職前から休日に研修                  2015 年 4 月～2016 年 3 月                  研修事業を活用して 1 年間、森本猛典氏のもとで研修</p> <p>2016 年 6 月                  認定新規就農者認定                  中古ハウス 3a を移設して育苗開始</p> <p>2016 年 10 月                  青年等就農資金でハウス 12.8a を新設し栽培開始（研修後すぐ栽培を始めるため、融資のみで建設）。</p> <p>2019 年～ 森本猛典氏ハウス（伊川谷町前開 20a）を引継ぎ、規模拡大</p>	<p>就農して良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点、嬉しかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業は全て自分で考え、計画して、仕事に取り組めること。</li> <li>・自身の考えで色々な挑戦ができること。</li> </ul> <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の栽培はマニュアルのとおりには行かず、立地・品種に適した栽培管理を自分で見つけられるまで苦労した。</li> <li>・気候的にもいちごの栽培管理は難しくなっている。</li> </ul>
<p>農業をめざした動機・きっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業志向があったこと、非農家ながら野菜は子供のときから栽培していた。</li> <li>・押部谷周辺のハウスを見て、産地的にイチゴを志向（特にイチゴが高く売れ経営的に有利という意識はなかった）</li> <li>・勤めながら休日に親方（森本さん）のもとで研修し、準備して就農を決めた。</li> </ul>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴは年に一作しか穫れない作物で一作の情報収集・整理は非常に大切。それを経営に活かせる力が必要です。</li> <li>・施設投資が大きく、経営開始時に費用を負担できる資金力も必要です。</li> <li>・量を確保して、自分の販路を作るため味を出せる技術が求められる作物です。</li> </ul>